

# 水道事業



令和5～7年度 妙琴浄水場薬品注入施設更新工事（工事中）

・手前から苛性ソーダ貯蔵槽×2、次亜貯蔵槽×2、PAC貯蔵槽×2

# 1 水道事業の沿革

明治7	最初の黒川引水計画着工	平成7	4月 知久平統合簡易水道事業認可(南原・知久平・中組簡易水道を統合) 事業開始
	9 黒川井水完成するが一昼夜で崩壊		9 3月 大門原無水源簡易水道事業 事業完了
27	第2回黒川引水計画		米川簡易水道施設整備事業 完了・認可 事業開始
大正9	6月 簡易水道布設の議決を行う		4月 料金改定(上水道・簡易水道 消費税3%→5%)
	11 10月(土井)の簡易水道布設の認可を受ける		11月 飯田市上水道通水70周年記念式典
13	2月 飯田町上水道布設を計画	10	3月 伊豆木簡易水道 事業完了
15	11月 飯田町上水道布設許可を内務大臣から受ける		4月 川路簡易水道 事業変更認可
昭和2	3月 上飯田村の砂払浄水場予定地において起工式実施		8月 伊豆木簡易水道 給水開始
	3 12月 砂払浄水場完成 飯田町上水道布設完成		9月 川路簡易水道 増補改良事業着手
	<b>飯田市</b>		10月 料金改定(上水道8.6%・簡易水道4.8%)
12	4月 上飯田町と合併し飯田市発足	11	1月 法山簡易水道建設事業 事業認可 事業開始
30	4月 滝の沢簡易水道・大平簡易水道 給水開始		3月 上久堅簡易水道事業 事業認可
31	4月 正永寺原簡易水道 給水開始		妙琴浄水場 急速濾過池増設1池完了
	5月 川路簡易水道 給水開始		大瀬木無水源簡易水道事業 事業完了
32	2月 時又簡易水道 給水開始	12	3月 妙琴浄水場 急速濾過池増設1池完了
	4月 上水道第一次拡張(区域拡張、松尾・鼎町・上郷村)		知久平統合簡易水道事業 事業完了
	7月 下瀬簡易水道 給水開始		8月 砂払浄水場 配水池増改築工事着手
10月	押洞簡易水道・立石簡易水道 給水開始		9月 知久平統合簡易水道 給水開始
35	2月 北の原簡易水道 給水開始	13	3月 上下水道情報システム運用開始
	8月 一色簡易水道(鼎町) 給水開始		中央監視操作施設(浄水場OA化) 運用開始
36	3月 名古熊簡易水道(鼎町) 給水開始	14	3月 上久堅簡易水道事業 変更認可
	6月 三六災 台風災害で水道管も被害を受ける		4月 料金改定(上水道4.0%・簡易水道2.7%)
38	3月 伊賀良簡易水道 給水開始		8月 法山簡易水道 一部給水開始
	12月 上郷村営上水道経営の認可を受ける	11月	砂払浄水場 配水池増改築工事完了
39	10月 上郷村営上水道着工	15	4月 22日～23日妙琴浄水場給水事故(飲用制限)
40	上水道第二次拡張事業に着手		6月 上久堅簡易水道 上久堅浄水場築造工事着手
42	1月 知久平簡易水道 給水開始	16	3月 川路簡易水道増補改良事業 事業完了
	12月 野底浄水場工事完了(上郷村)		法山簡易水道建設事業 事業完了
43	2月 上郷村営上水道 給水開始	17	3月 米川簡易水道拡張整備事業 事業完了
44	3月 北の原簡易水道を廃止、上水道へ統合		4月 川路・立石・龍江・山本・伊豆木・知久平統合・沢城簡易水道を廃止し上水道事業へ統合
	<b>上下水道組合</b>		簡易水道料金の一部を引下げ水道料金と統一
45	2月 飯田市・鼎町・上郷村下水道組合に上水道事業を加え	10月	上村・南信濃村合併により飯田市簡易水道に統合
	飯田市・鼎町・上郷村上下水道組合 変更設立	18	9月 上下水道料金のコンビニ収納を開始
	2月 上水道他簡易水道の経営廃止許可申請書提出	19	9月「水道ビジョン」(長期整備計画)策定
	3月 飯田地区広域上水道の経営認可を受ける	11月	上久堅簡易水道 一部給水開始
10月	松川ダム起工式	20	3月 遠山簡易水道事業 事業認可
46	9月 広域上水道妙琴浄水場 建設着手		4月 料金改定(上水道・簡易水道 平均5.77%)
10月	上飯田簡易水道 事業認可	10月	上下水道料金徴収業務の民間委託を実施
48	8月 広域上水道妙琴浄水場 完成	22	3月 上久堅簡易水道事業、和田第1浄水場 事業完了
10月	松川ダム湛水開始	22	7月 和田第1浄水場 運転開始
49	7月 広域上水道一部給水開始	23	4月 米川・法山・上久堅簡易水道を水道事業に統合
50	4月 飯田市上水道・上郷町営水道・鼎一色・名古熊簡易水道	24	3月 此田浄水場 工事完了 運転開始
	など飯田地区広域上水道へ統合		4月 風折浄水場 工事完了 運転開始
51	4月 沢城簡易水道 給水開始	25	1月 十原浄水場 工事完了 運転開始
53	4月 飯田地区広域上水道として事業経営認可を受け、飯田市		3月 下中郷浄水場 工事完了 運転開始
	鼎町、上郷町の水道事業統合		遠山簡易水道整備事業 事業完了
54	4月 市内広域上水道給水区域外の未給水地域に対処する為、	26	3月 上黒田(旧上郷第2)配水池 工事完了
	水道室を設置する		4月 料金改定(上水道・簡易水道 消費税5%→8%)
55	6月 龍江簡易水道 給水開始	28	11月 妙琴浄水場更新整備事業(第1期)着手
	7月 中村無水源簡易水道 給水開始	29	3月「水道ビジョン(改定版)」「水道事業経営戦略」策定
56	4月 中組簡易水道 給水開始	29	4月 遠山簡易水道を水道事業に会計統合
59	4月 米川簡易水道の運営管理を飯田市水道室へ移管	30	3月 鼎配水池 更新整備工事完了
	12月 鼎町合併により飯田市・上郷町上下水道組合と改称	31	3月 今宮中継ポンプ場 整備工事完了
60	5月 南原簡易水道 給水開始		遠山簡易水道事業 変更認可
61	8月 川路簡易水道 変更認可(下瀬簡易水道を編入)	令和1	10月 料金改定(上水道・簡易水道 消費税8%→10%)
63	4月 山本簡易水道 一部給水開始	2	3月「水道事業経営戦略(令和元年度版)」策定
平成1	3月 米川簡易水道事業変更認可 事業開始	3	3月 妙琴浄水場更新整備事業(第1期)完了
	4月 沢城簡易水道、中組簡易水道の経営移管	4	3月 飯田市上水道事業 変更認可
2	3月 伊豆木簡易水道事業 事業認可 事業開始	11月	「第3次飯田市水道ビジョン」策定
5	4月 大門原無水源簡易水道事業 事業開始	5	5月「水道事業経営戦略(令和5年度改定版)」策定
	<b>飯田市</b>	6	1月 料金改定(上水道・簡易水道 18.0%)
5	7月 上郷町合併により飯田市水道局と改称		6月 上郷第1配水池 更新整備工事完了
平成7	1月 料金改定(上水道18.7%・簡易水道0.6%)		
	4月 大瀬木無水源簡易水道事業 事業開始		

## 2 水道事業の進め方（「第3次飯田市水道ビジョン」より）

### （1）水道事業の経営理念（目指す方向性）

「安全でおいしい水道水を安定して供給する」ことを基本目標とし、運営基盤（組織・施設・財政）を強化し、災害に強く持続可能な水道を目指す。

### （2）水道事業の運営方針

国土交通省の「新水道ビジョン」に示された三つの観点「持続」、「安全」、「強靱」にあわせて、「安全」、「強靱」、「持続」とします。

目標	3つの運営方針	8つの施策の柱
<b>基本目標</b> 安全でおいしい水道水を安定して供給する	<b>運営方針1「安全」</b> すべてのお客様が安心して飲める安全で良質な水道を目指します。	①安全で良質な水道水質の確保
	<b>運営方針2「強靱」</b> 災害等による被害を最小限に留めると共に、危機管理体制の充実した水道を目指します。	②広域交通拠点周辺の水道施設整備 ③管路の計画的な更新と耐震化 ④浄・配水施設の計画的な更新と耐震化 ⑤災害に対応した適切な管理と仕組み作り
	<b>運営方針3「持続」</b> お客様と共に歩み、将来にわたって持続可能な水道を目指します。	⑥経営基盤の強化 ⑦水道の広域化・D Xの取組・人材の育成【新】 ⑧ゼロカーボンへの取組【新】

### 【国の新水道ビジョンにおける目指すべき方向性】

時代や環境の変化に対して的確に対応しつつ、水質基準に適合した水が、必要な量、いつでも、どこでも、誰でも、合理的な対価をもって、持続的に受け取ることが可能な水道		
<b>『安全』な水道</b>	<b>『強靱』な水道</b>	<b>サービスの『持続』</b>
すべての国民が、いつでもどこでも、水をおいしく飲める水道	自然災害等による被災を最小限にとどめ、被災した場合であっても、迅速に復旧できるしなやかな水道	給水人口や給水量が減少した状況においても、健全かつ安定的な事業運営が可能な水道

### (3) 各施設等の現状と運営・更新に係る将来的な基本方針

#### ア 水源・取水地点

妙琴浄水場の松川水源をはじめとする上水道区域の水源及び、上町浄水場の水荒沢水源をはじめとする簡易水道区域の水源の多くは、取水・導水施設も含めて老朽化が著しい状況です。引き続き水源・取水・導水施設を安全に使用するために、計画的に施設の更新を行っていきます。

また、豪雨時等に高濁度になり取水停止等の可能性の高い水源、給水人口が少なく施設効率が著しく低い水源等については、新たな水源の可能性、他浄水エリアへの統合も含め検討を進めていきます。

#### イ 浄水場

##### (ア) 上水道区域

上水道区域の浄水場は、建設から40年以上経過したものが多く、施設の老朽化に加え耐震性も低い状態です。

特に妙琴浄水場は、市民の6割以上の飲料水を賄う水道事業の中心施設ですが、施設の老朽化や耐震性に不安があることなどから、最優先で更新整備を進めています。

沢城浄水場は、老朽化と冬季の水源管理等が難しいことから将来廃止を計画しており、廃止に向けて妙琴浄水場系統から送水する中継ポンプ場等の整備を進めています。

##### (イ) 簡易水道区域

簡易水道区域の浄水場施設については、給水人口のわずかな区域の施設が多いことから、水質管理を最優先しつつ費用対効果を勘案した施設更新を行っていきます。

建設年度が古い下栗浄水場と上町浄水場は、施設更新において建設コストの削減、薬品使用量と処理コストの削減、浄水施設の小スペース化等について検討を行いました。その結果、浄水方法を膜ろ過方式へ変更することが最も適当であると判断し、事業実施に必要な認可変更の届出を行いました。

#### ウ 送配水施設

##### (ア) 配水池・ポンプ場等

配水区域が隣接するなどの地理的な条件を満たし、管網整備を効率よく行うことができる配水池・ポンプ場等については、施設運営をより効率的に行うため統廃合を進め、更新施設の詳細設計において水需要予測などから施設のダウンサイジング等を検証し、適切な規模で更新整備を進めます。

また、各配水池・ポンプ場の重要度や配水池容量、ポンプ能力に、それぞれの構造物や設備の経過年数、劣化度を考慮して、必要性の高い施設から順次更新していきます。

##### (イ) 送水管・配水管等

建設年度の古い浄水場の配水区域は、建設当初に布設した送配水管が非常に多く残っており、経年劣化も進んできています。原則として布設年度が古く、お客様への影響が大きなもの、浄水場から配水池、重要な施設を結ぶ基幹管路等から順次耐震管へ更新を行っています。さらに他事業関連の工事に併せて布設替えを実施するなど経費の節減に努めます。

また、飯田市水道施設更新に係る基本方針により物理的評価と重要度評価を基に更新順位を判定し、順位の高い管路から更新することで災害に対して強い管路整備を進めます。

老朽管布設替工事については、6年度から耐震性、施工性に優れ、ダクトイル鋳鉄管より低コストの「水道配水用ポリエチレン管」を採用し、建設コストの削減に努めています。

## エ 妙琴浄水場更新事業

妙琴浄水場は昭和45(1970)年から昭和48(1973)年に建設された、浄水処理能力30,000 m<sup>3</sup>/日の急速ろ過方式の浄水場です。

本浄水場は、市民の6割以上の飲料水を賄う水道事業の心臓部でありながら、老朽化や耐震性等の脆弱性に加え、近年頻発している集中豪雨等の影響による水道原水の高濁度に対応するため、砂払浄水場や野底浄水場等への補完機能も有しており、最優先で更新整備を行う必要があります。

平成23年度には浄水場の南端に管理棟の用地を取得し、平成28年11月に更新整備事業(第1期)に着手し、令和3年3月に耐震化された管理棟(地上2階、地下2階)及び、浄水池を整備しました。

今後の更新整備事業は、現施設を運転しながらの更新となるため、令和2年度から令和3年度に沈殿池及びろ過池を始めとする残る施設の基本設計を実施しました。

基本設計では同一敷地内での土砂災害警戒区域を避けた施設の全体配置計画、施設計画、施工手順等の検討を行い、スクラップアンドビルドによる10のステップで更新整備を進めます。

ステップごとと最新技術やコスト削減を考慮した詳細設計を実施し、施設の更新および耐震化を計画的に推進していく必要があります、不測の事態に備えて各施設を冗長化することで、危機管理体制の充実も図っていきます。(施設フロー)

本浄水場の更新整備事業は長期間にわたる事業であり、施設点検、状態監視を綿密に行い各施設の延命を図りながら更新を進める必要があります。

### (ア) 更新手順(整備フロー)

#### ・ステップ1

工事期間：令和5年度～令和7年度

工事内容：薬品注入施設設置(新管理棟)、自家発電設備更新(新管理棟)

#### ・ステップ2

工事期間：令和8年度～令和9年度

工事内容：既設浄水池撤去、既設次亜注入棟撤去、既設給水車倉庫撤去

#### ・ステップ3

工事期間：令和9年度～令和11年度

工事内容：急速ろ過地築造

工事期間：令和10年度～令和11年度

工事内容：排水池築造

- ・ステップ 4  
工事期間：令和10年度～令和11年度  
工事内容：既設上澄水柵撤去、上澄水柵築造  
工事期間：令和13年度～令和14年度  
工事内容：既設洗浄水槽撤去
- ・ステップ 5  
工事期間：令和12年度  
工事内容：既設薬品沈殿池耐震補強
- ・ステップ 6  
工事期間：令和14年度～令和15年度  
工事内容：排水用ラグーン改良（築造）
- ・ステップ 7  
工事期間：令和17年度～令和18年度  
工事内容：旧管理棟撤去、既設急速ろ過池撤去、噴水撤去  
工事期間：令和17年度～令和19年度  
工事内容：排泥池築造
- ・ステップ 8  
工事期間：令和20年度～令和23年度  
工事内容：着水井築造、流量計室築造、薬品沈殿池築造
- ・ステップ 9  
工事期間：令和23年度～令和25年度  
工事内容：既設着水井撤去、既設ブロック形成池撤去、既設薬品沈殿池撤去等
- ・ステップ10  
工事期間：令和24年度～令和25年度  
工事内容：場内整備、事業完了

#### （イ） 当年度の工事（ステップ1）

新管理棟に設置する薬品注入施設更新工事、自家発電設備更新工事は、令和5年度に工事発注を行い令和7年度までの3年間の工事で2年目となります。

薬品注入施設については、次亜貯蔵槽、PAC貯蔵槽、苛性ソーダ貯蔵槽、各注入設備の製作が完了しました。自家発電設備については発電機の製作（定格出力500KVA）、新管理棟への設置が完了し、両工事とも令和7年度中の工事完成にむけて順調に工事を進めています。



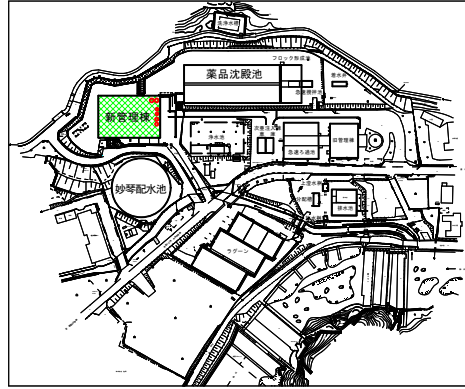
# 妙琴浄水場更新整備計画（整備フロー）

## （令和5年度～令和25年度）

— 撤去  
— 築造・整備  
— 更新・耐震済

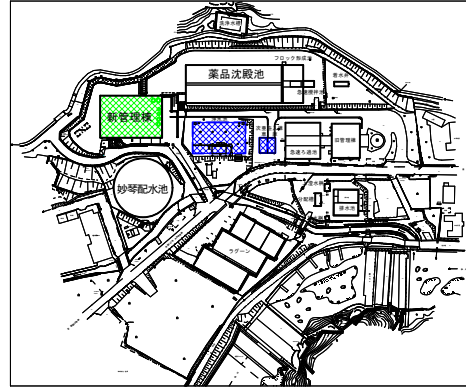
### ステップ1

- ・薬品注入施設設置  
次亜塩素酸ナトリウム  
ポリ塩化アルミニウム  
苛性ソーダ
- ・自家発電設備更新  
定格出力500KVA



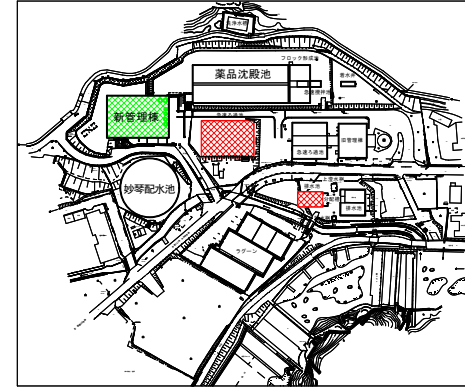
### ステップ2

- ・既設浄水池撤去
- ・既設次亜注入棟撤去
- ・給水車庫撤去



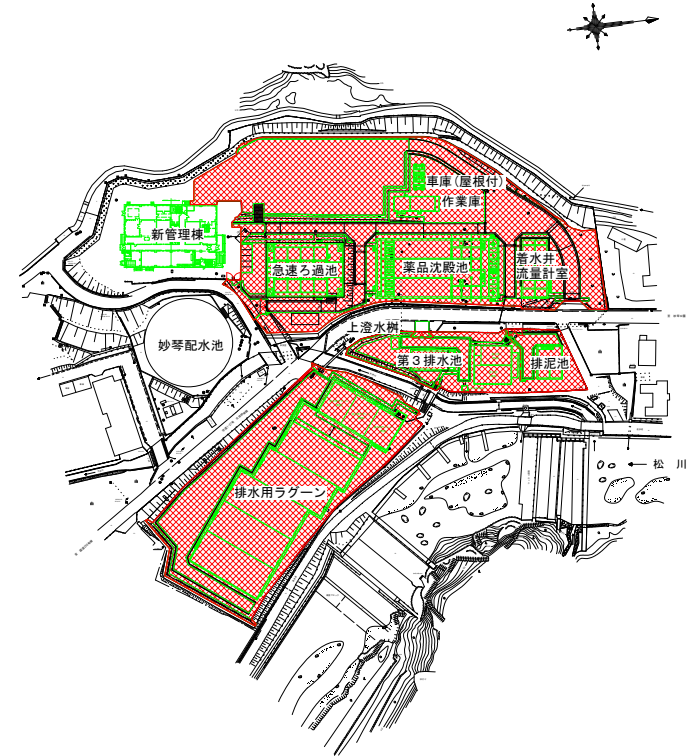
### ステップ3

- ・急速ろ過池築造
- ・排水池築造



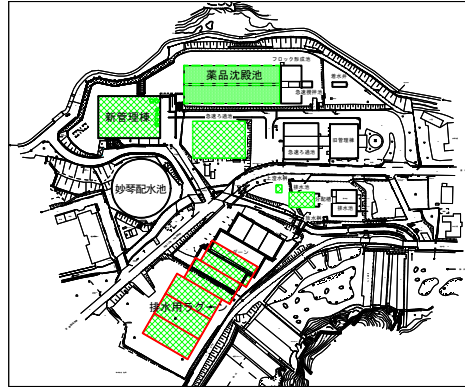
### ステップ10

- ・場内整備をして完成



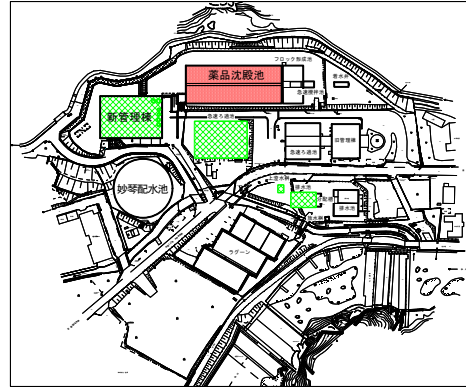
### ステップ6

- ・排水用ラグーン改良



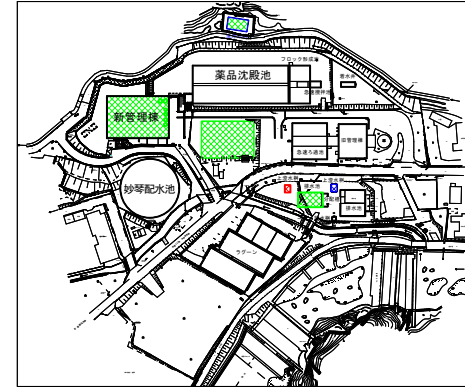
### ステップ5

- ・既設薬品沈殿池耐震補強



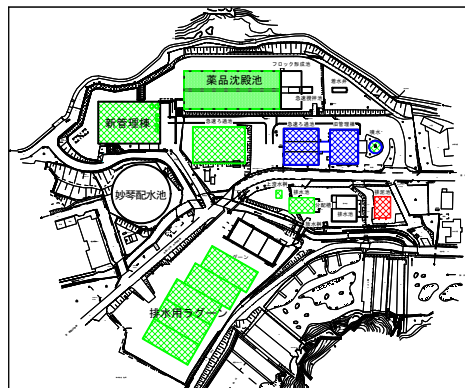
### ステップ4

- ・既設上澄水樹撤去
- ・上澄水樹築造
- ・既設洗浄水槽撤去



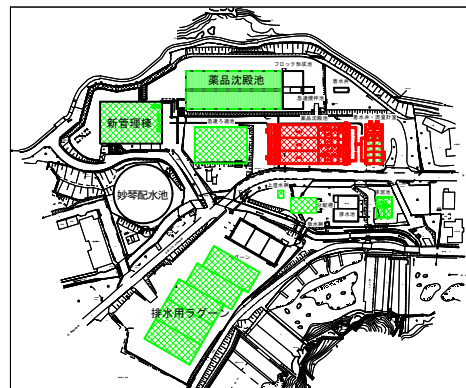
### ステップ7

- ・旧管理棟撤去
- ・既設急速ろ過池撤去
- ・噴水撤去
- ・排泥池築造



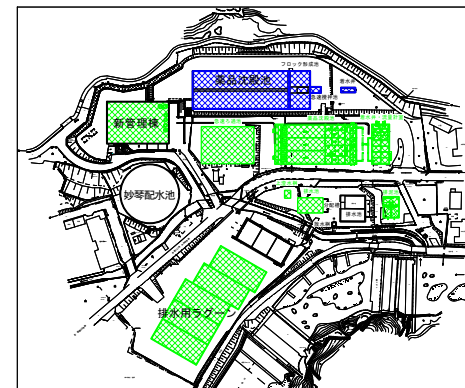
### ステップ8

- ・着水井築造
- ・流量計室築造
- ・薬品沈殿池築造



### ステップ9

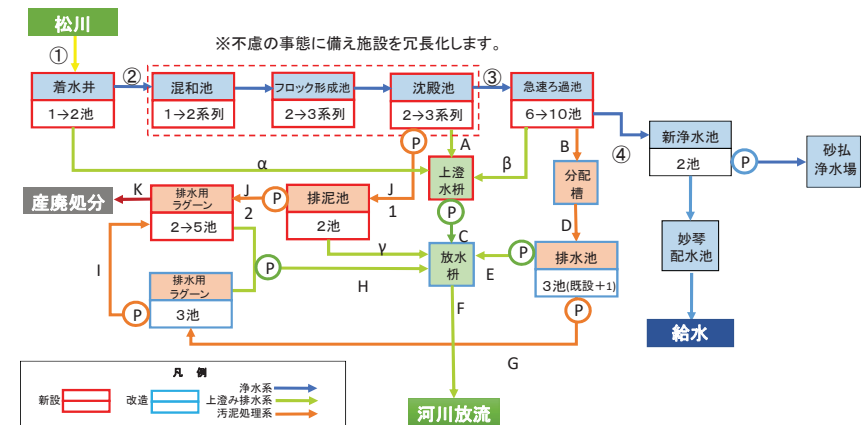
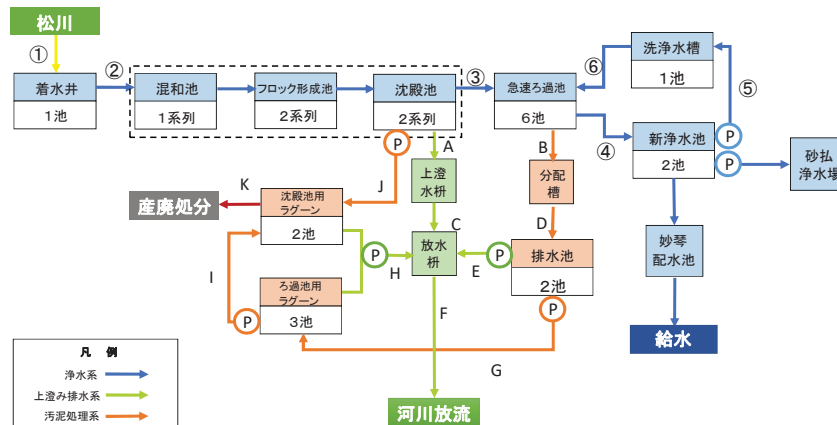
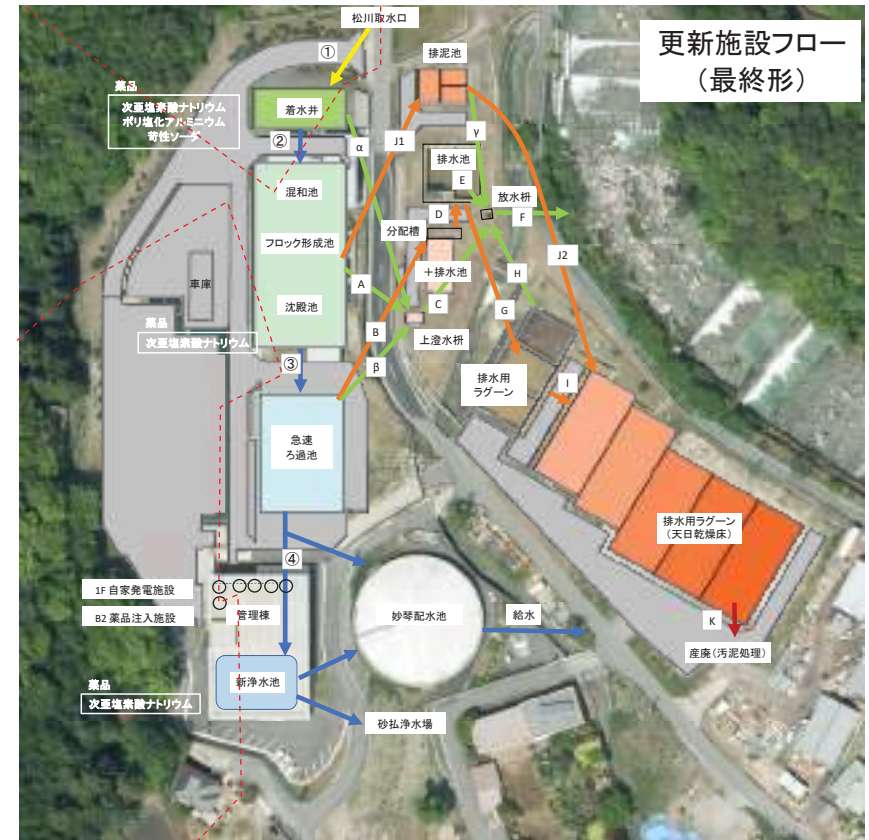
- ・既設着水井撤去
- ・既設フロック形成池撤去
- ・既設薬品沈殿池撤去
- ・急速攪拌池撤去



# 妙琴浄水場更新整備事業施設フロー (R5~R25)



RZ: レッドゾーン





### 3 水道事業の計画と実績

(令和7年3月31日現在)

区分		事業名	水道事業計	上水道事業 内訳		簡易水道事業計	簡易水道事業 内訳		合計
				上水道	H23統合簡水		上村	南信濃	
計画	給水区域内人口 (人)	①	98,600	95,294	3,306	1,300	1,300		99,900
	給水人口 (人)	②	97,900	94,600	3,300	1,300	1,300		99,200
	給水区域面積 (Km2)		128.08	91.61	36.47	7.26	7.26		135.34
実績	行政区域内人口 (人)	③	92,863	89,894	2,969	1,330	319	1,011	94,193
	給水区域内人口 (人)	④	92,863	89,894	2,969	1,274	319	955	94,137
	給水人口 (人)	⑤	92,267	89,303	2,964	1,273	319	954	93,540
	普及率 (⑤/④) (%)	⑥	99.4%	99.3%	99.8%	99.9%	100.0%	99.9%	99.4%
	給水栓数 (栓)	⑦	44,735	43,355	1,380	1,027	293	734	45,762
	うち13mm (栓)	a	41,507	40,155	1,352	943	267	676	42,450
	うち20mm (栓)	b	2,089	2,079	10	47	14	33	2,136
	うち25mm (栓)	c	740	731	9	27	7	20	767
	うち40mm (栓)	d	273	265	8	7	5	2	280
	うち50mm (栓)	e	99	98	1	3	0	3	102
	うち75mm (栓)	f	24	24	0	0	0	0	24
	うち100mm (栓)	g	1	1	0	0	0	0	1
	うち公衆浴場用 (栓)	h	2	2	0	0	0	0	2
計画	年間配水量 (m³)	⑧	10,850,355	10,500,320	350,035	246,740	64,970	181,770	11,097,095
	配水能力 (m³/日)	⑨	44,409	42,964	1,445	1,411	501	910	45,820
実績	年間配水量 (m³)	⑩	10,158,026	9,822,045	335,981	227,186	72,291	154,895	10,385,212
	1日最大配水量 (m³)	⑪	30,740	29,675	1,065	723	290	433	31,463
	年間給水量 (有収水量) (m³)	⑫	8,954,810	8,698,066	256,744	140,368	31,283	109,085	9,095,178
	うち13mm (m³)	i	6,994,556	6,774,240	220,316	107,998	25,641	82,357	7,102,554
	うち20mm (m³)	j	475,000	474,044	956	9,129	900	8,229	484,129
	うち25mm (m³)	k	382,494	374,651	7,843	10,152	1,214	8,938	392,646
	うち40mm (m³)	l	549,632	522,310	27,322	4,311	3,247	1,064	553,943
	うち50mm (m³)	m	362,015	361,708	307	8,778	281	8,497	370,793
	うち75mm (m³)	n	186,694	186,694	0	0	0	0	186,694
	うち100mm (m³)	o	4,217	4,217	0	0	0	0	4,217
	うち公衆浴場用 (m³)	p	202	202	0	0	0	0	202
	有収率 (⑫/⑩) (%)	⑬	88.2%	88.6%	76.4%	61.8%	43.3%	70.4%	87.6%
施設 実績	浄水場(急速ろ過) (カ所)	⑭	4	2	2	2	2	0	6
	浄水場(緩速ろ過) (カ所)	⑮	2	2	0	3	0	3	5
	浄水場(膜ろ過) (カ所)	⑯	1	0	1	7	6	1	8
	浄水池及び配水池 (池)	⑰	88	66	22	36	11	25	124
	管路延長 (m)	⑱	1,101,215	958,416	142,799	84,508	33,778	50,730	1,185,723
	うち導水管 (m)	q	26,222	20,638	5,584	13,174	6,571	6,603	39,396
	うち送水管 (m)	r	184,387	154,322	30,065	12,785	4,263	8,522	197,172
	うち配水管 (m)	s	890,606	783,456	107,150	58,549	22,944	35,605	949,155

## 4 水道事業の現状

### (1) 給水人口、普及率、有収水量、有収率等の推移

区 分 年 度		給 水 人 口		普及率	普及率	配 水 量		有 収 水 量		有収率 %	料金収入(税抜)		備考
		実数(人)	増減(%)	①  %	②  %	実数 (m³)	増減(%)	実数 (m³)	増減(%)		実数(千円)	増減(%)	
水 道 事 業 (会 計)	27年度	100,722	△ 0.5	99.0	97.1	11,271,511	1.2	9,444,431	△ 1.0	83.8	1,462,910	△ 1.0	
	28年度	100,150	△ 0.6	99.0	97.2	11,367,595	0.9	9,580,451	1.4	84.3	1,482,753	1.4	
	29年度	99,244	△ 0.9	99.1	97.3	11,443,400	0.7	9,505,670	△ 0.8	83.1	1,472,596	△ 0.7	
	30年度	98,473	△ 0.8	99.1	97.4	11,325,306	△ 1.0	9,479,281	△ 0.3	83.7	1,469,271	△ 0.2	
	元年度	97,498	△ 1.0	99.2	97.5	10,829,620	△ 4.4	9,290,052	△ 2.0	85.8	1,444,338	△ 1.7	
	2年度	96,508	△ 1.0	99.2	97.6	11,183,227	3.3	9,311,070	0.2	83.3	1,445,497	0.1	
	3年度	95,442	△ 1.1	99.3	97.6	10,628,119	△ 5.0	9,249,227	△ 0.7	87.0	1,436,752	△ 0.6	
	4年度	94,390	△ 1.1	99.3	97.8	10,329,031	△ 2.8	9,106,669	△ 1.5	88.2	1,418,009	△ 1.3	
	5年度	93,363	△ 1.1	99.3	97.9	10,228,553	△ 1.0	9,024,979	△ 0.9	88.2	1,415,896	△ 0.1	
	6年度	92,267	△ 1.2	99.4	98.0	10,158,026	△ 0.7	8,954,810	△ 0.8	88.2	1,651,612	16.6	
簡 易 水 道 事 業 (会 計)	27年度	1,890	△ 3.8	100.0	1.8	265,619	6.5	195,804	△ 2.9	73.7	33,615	△ 3.0	
	28年度	1,824	△ 3.5	100.0	1.8	273,096	2.8	194,779	△ 0.5	71.3	32,285	△ 4.0	
	29年度	1,751	△ 4.0	99.9	1.7	270,376	△ 1.0	189,205	△ 2.9	70.0	32,743	1.4	
	30年度	1,671	△ 4.6	99.9	1.7	256,562	△ 5.1	179,526	△ 5.1	70.0	31,404	△ 4.1	
	元年度	1,598	△ 4.4	99.9	1.6	252,505	△ 1.6	173,041	△ 3.6	68.5	30,390	△ 3.2	
	2年度	1,561	△ 2.3	99.9	1.6	254,112	0.6	164,043	△ 5.2	64.6	29,129	△ 4.1	
	3年度	1,527	△ 2.2	99.9	1.6	265,030	4.3	165,438	0.9	62.4	29,511	1.3	
	4年度	1,445	△ 5.4	99.9	1.5	261,687	△ 1.3	154,236	△ 6.8	58.9	27,792	△ 5.8	
	5年度	1,338	△ 7.4	99.9	1.4	263,333	0.6	144,972	△ 6.0	55.1	26,719	△ 3.9	
	6年度	1,273	△ 4.9	99.9	1.4	227,186	△ 13.7	140,368	△ 3.2	61.8	30,168	12.9	
両 事 業 合 算	27年度	102,612	△ 0.5	99.0	98.9	11,537,130	1.3	9,640,235	△ 1.1	83.6	1,496,525	△ 1.1	
	28年度	101,974	△ 0.6	99.1	99.0	11,640,691	0.9	9,775,230	1.4	84.0	1,515,038	1.2	
	29年度	100,995	△ 1.0	99.1	99.0	11,713,776	0.6	9,694,875	△ 0.8	82.8	1,505,339	△ 0.6	
	30年度	100,144	△ 0.8	99.1	99.0	11,581,868	△ 1.1	9,658,807	△ 0.4	83.4	1,500,675	△ 0.3	
	元年度	99,096	△ 1.0	99.2	99.1	11,082,125	△ 4.3	9,463,093	△ 2.0	85.4	1,474,728	△ 1.7	
	2年度	98,069	△ 1.0	99.2	99.1	11,437,339	3.2	9,475,113	0.1	82.8	1,474,626	0.0	
	3年度	96,969	△ 1.1	99.3	99.2	10,893,149	△ 4.8	9,414,665	△ 0.6	86.4	1,466,263	△ 0.6	
	4年度	95,835	△ 1.2	99.3	99.3	10,590,718	△ 2.8	9,260,905	△ 1.6	87.4	1,445,801	△ 1.4	
	5年度	94,701	△ 1.2	99.3	99.3	10,491,886	△ 0.9	9,169,951	△ 1.0	87.4	1,442,615	△ 0.2	
	6年度	93,540	△ 1.2	99.4	99.3	10,385,212	△ 1.0	9,095,178	△ 0.8	87.6	1,681,780	16.6	

注1 普及率 ①＝給水人口÷給水区域内人口 ②＝給水人口÷行政区域内人口 (いずれも外国人登録人口含む)

注2 簡易水道事業は、平成28年度まで特別会計として経理。

(2) 水道料金・加入金

令和6年1月1日改定  
(1か月・消費税込み)

ア 水道料金表

区分	基本料金			従量料金 (1 m³につき)		
	使用水量	口径	料金	口径	従量区分	料金
一般・営業用	8 m³以下	13 mm	1,320 円	13 mm	9 m³以上20m³以下の部分	183 円
		20 mm	1,727 円	20 mm		
		25 mm	2,464 円	25 mm	21m³以上の部分	200 円
		40 mm	5,929 円	40 mm	1 m³以上の部分	200 円
		50 mm	9,130 円	50 mm		
		75 mm	21,934 円	75 mm		
		100 mm	37,125 円	100 mm		
公衆浴場用		13 mm	643 円	13 mm	1 m³以上の部分	56 円
		20 mm	711 円	20 mm		
		25 mm	993 円	25 mm		
		40 mm	2,695 円	40 mm		
		50 mm	5,525 円	50 mm		

参考：水道料金の推移 (口径13mm、1か月22m³使用の場合、消費税込み)

○ 水道料金

	平成14年4月1日 平均4.0%改定	平成17年4月1日 据置き	平成20年4月1日 平均5.77%改定	平成26年4月1日 消費税5%→8%	令和1年10月1日 消費税8%→10%	令和6年1月1日 平均18.0%改定
基本料金	1,008 円	1,008 円	1,066 円	1,096 円	1,116 円	1,320 円
従量料金	1,986 円	1,986 円	2,100 円	2,158 円	2,200 円	2,596 円
計	2,994 円	2,994 円	3,166 円	3,254 円	3,316 円	3,916 円

○ 簡易水道料金

	平成14年4月1日 平均2.7%改定	平成17年4月1日 水道料金と統一	平成20年4月1日 平均5.77%改定	平成26年4月1日 消費税5%→8%	令和1年10月1日 消費税8%→10%	令和6年1月1日 平均18.0%改定
基本料金	1,113 円	1,008 円	1,066 円	1,096 円	1,116 円	1,320 円
従量料金	1,986 円	1,986 円	2,100 円	2,158 円	2,200 円	2,596 円
計	3,099 円	2,994 円	3,166 円	3,254 円	3,316 円	3,916 円

イ 加入金表

(消費税込み)

口径	給水区域	
	右記を除く区域	下久堅・上久堅・千代・龍江・三穂 (伊豆木)・山本(久米を除く)・伊賀良(沢城)・上村・南信濃
13 mm	77,000 円	99,000 円
20 mm	99,000 円	121,000 円
25 mm	198,000 円	253,000 円
40 mm	550,000 円	704,000 円
50 mm	880,000 円	1,133,000 円
75 mm	2,200,000 円	2,827,000 円
100 mm	3,740,000 円	—

### (3) 令和6年度主要事業の概要

#### ア 上水道事業

##### (ア) 妙琴浄水場更新事業（起債事業）

###### ① 事業内容 (単位：千円)

工事箇所等	概 要	決 算 額
薬品注入施設更新工事（令和5・6・7年度）	薬品注入施設 一式	81,961
自家発電設備更新工事（令和5・6・7年度）	自家発電設備 一式	71,500
浄水池撤去及び急速ろ過池他築造詳細設計業務委託（令和6・7年度）	詳細設計一式	16,500
合 計		169,961

###### ② 事業費 (単位：千円)

予 算 額	決 算 額	特 定 財 源			自己財源
		国県支出金	公営企業債	一般会計出資金	
169,961	169,961	0	114,700	38,200	17,061

##### (イ) 入野大瀬木配水池関連事業（起債事業）

###### ① 事業内容 (単位：千円)

工 事 名 等	概 要	決 算 額
入野中継ポンプ場築造工事（令和6・7・8年度）	R C 造	308,506
配水管布設工事（市道伊賀良468号線）	L=237.6m	28,974
入野中継ポンプ場築造工事監理業務委託（令和6・7・8年度）		491
合 計		337,971

###### ② 事業費 (単位：千円)

予 算 額	決 算 額	特 定 財 源			自己財源
		国県支出金	公営企業債	一般会計繰入金	
452,720	337,971	0	68,400	845	268,726

##### (ウ) 老朽管更新事業（起債事業）

###### ① 布設替状況 (単位：千円)

工 事 名 等	布設替延長	消 火 栓	決 算 額
高羽町1丁目（市道1-13号線他）	L=698.6m	3 基	42,834
龍江（市道龍江154号線他）	L=454.1m	2 基	35,992
曙町2（市道1-18号曙線）	L=350.9m	4 基	32,791
丸山（市道1-26号線他）	L=403.8m	2 基	27,159
松川町（市道1-21号線）	L=385.4m	3 基	29,491
大瀬木（市道1-35号線）	L=37.7m（水管橋含）		27,082
上郷飯沼（市道1-92号線他）	L=317.6m	1 基	19,657
宮ノ上（市道1-9号線）	L=233.1m	1 基	13,651
時又（市道竜丘2号線他）	L=148.1m	1 基	12,012
上郷黒田（市道上郷417号線他）	L=159.3m	1 基	9,867
今宮町4丁目（市道飯田391号線）	L=61.8m		4,444
曙町（市道1-18号曙線）	L=35.9m		2,090
合 計			257,070

###### ② 事業費 (単位：千円)

予 算 額	決 算 額	特 定 財 源			自己財源
		国県支出金	公営企業債	一般会計出資金ほか	
315,100	257,070	0	202,000	31,797	23,273



## (エ) 基幹管路耐震化事業（国庫補助事業・起債事業）

## ① 事業内容

(単位：千円)

工 事 名 等	布 設 延 長ほか	決 算 額
送水管布設工事（市道飯田391号線今宮町4丁目）	L=63.6m	100,826
送水管布設替工事（国道256号線水神橋）（令和5・6年度）	L=365.4m	58,008
野底川水管橋詳細設計業務委託	詳細設計一式	18,117
用地取得（大門町）	A=568.74m <sup>2</sup>	8,645
舗装本復旧工事（市道1-10号大門今宮線大門町）	切削オーバーレイ工A=597m <sup>2</sup>	7,161
山の田沢川水管橋詳細設計業務委託	詳細設計一式	6,259
山の田沢川水管橋用地地質調査業務委託	地質調査一式	4,092
物件調査業務委託（2箇所）	物件調査一式	3,179
不動産鑑定業務委託（2箇所）	不動産鑑定一式	639
公共嘱託登記業務委託ほか		554
合 計		207,480

## ② 事業費

(単位：千円)

予 算 額	決 算 額	特 定 財 源			自己財源
		国県支出金	公営企業債	一般会計出資金	
212,917	207,480	20,559	133,700	8,300	44,921

## (オ) 風越貯水池耐震整備事業（国庫補助事業）

## ① 事業内容

(単位：千円)

工事名等	概 要	決算額
耐震補強詳細設計業務委託	詳細設計一式	9,680
合 計		9,680

## ② 事業費

(単位：千円)

予算額	決算額	特定財源			自己財源
		国県支出金	公営企業債	一般会計出資金	
72,331	9,680	2,420	5,400	1,800	60

## イ 簡易水道事業

## 管路改良事業（起債事業・単独事業）

## ① 事業内容

(単位：千円)

工 事 名 等	概 要	決 算 額
送水管布設替工事（南信濃大島）	L=94.9m	4,719
災害復旧に伴う配水管布設替工事（2箇所）	L=138.2m	9,020
配水管災害復旧工事	L=41.6m	847
合 計		14,586

## ② 事業費

(単位：千円)

予 算 額	決 算 額	特 定 財 源			自己財源
		国県支出金	公営企業債ほか	補償金	
22,800	14,586	0	4,600	7,203	2,783

## 5 水道施設の概要

### (1) 浄水施設の概要（上水道）

No.	項 目 施設名	完 成	水 源	計画浄水量 ( $\text{m}^3/\text{日}$ )	給水人口 (人)	ろ過方式	概 要
①	妙琴浄水場	昭和48年 8月31日	松川	27,000	61,073	急速ろ過	松川ダムの建設に合わせて整備した浄水場。松尾・竜丘・川路・三穂・山本・伊賀良・鼎・下久堅及び龍江の一部へ給水している。
②	沢城浄水場	昭和51年 4月1日	清水沢	214		急速ろ過	大瀬木及び山本大明神の一部へ給水している。
③	砂払浄水場	昭和3年 2月29日	阿智川 (黒川)	13,860	22,057	緩速ろ過	黒川の水が、13.7kmに及ぶ導水管によって浄水場まで運ばれている。橋北・橋南・羽場・丸山・東野・上郷及び座光寺の下段地域へ給水している。
④	野底浄水場	昭和42年 12月30日	板山川	1,890	6,173	緩速ろ過	上郷及び座光寺の上段地域へ給水している。
⑤	米川浄水場	平成3年 12月27日	米川	945	1,834	急速ろ過	法全寺山中地区を除く千代のほぼ全域並びに龍江、下久堅及び上久堅の一部へ給水している。
⑥	法山浄水場	平成14年 3月15日	谷沢川	81	172	膜ろ過	千代の法全寺地区及び山中地区へ給水している。
⑦	上久堅浄水場	平成17年 2月25日	越久保川 玉川	419	958	急速ろ過	上久堅のほぼ全域へ給水している。
計				44,409	92,267		

(2) 浄水施設の概要（遠山簡易水道）

No.	項 目 施設名	完 成	水 源	計画浄水量 (m <sup>3</sup> /日)	給水人口 (人)	ろ過方式	概 要
①	上町浄水場	平成4年 3月25日	水荒沢	147	115	急速ろ過	上村上町地区及び南信濃 八日市場地区へ給水して いる。
②	程野浄水場	平成11年 3月10日	大平沢	150	93	膜ろ過	上村程野地区へ給水して いる。
③	下栗浄水場	平成2年 3月10日	途中沢 水見沢	105	72	急速ろ過	上村下栗地区及び南信濃 上中根、須沢地区へ給水 している。
④	ウトウドチ浄水場	平成12年 3月31日	漆平沢	9	5	膜ろ過	上村ウトウドチ地区へ給水 している。
⑤	上中郷浄水場	令和2年 1月20日	神燈沢	16	1	膜ろ過	上村上中郷地区へ給水し ている。
⑥	風折浄水場	平成24年 4月25日	風折	15	5	膜ろ過	上村風折地区へ給水して いる。
⑦	下中郷浄水場	平成25年 3月25日	下中郷	31	39	膜ろ過	上村下中郷地区へ給水し ている。
⑧	上区大野浄水場	平成30年 3月1日	大野	8	2	膜ろ過	上村大野地区へ給水して いる。
⑨	川合浄水場	平成16年 3月26日	川合	14	14	緩速ろ過	南信濃川合地区へ給水し ている。
⑩	和田第1浄水場	平成22年 7月14日	和田	521	692	緩速ろ過	南信濃和田地区の一部へ 給水している。
⑪	此田浄水場	平成24年 3月14日	此田	20	20	緩速ろ過	南信濃此田地区へ給水し ている。
⑫	十原浄水場	平成25年 1月22日	十原	18	19	膜ろ過	南信濃十原、和見地区へ 給水している。
⑬	本村分水槽	平成14年 2月25日	本村	43	43	井戸	南信濃本村、梅平地区に 給水している。
⑭	上区屋敷浄水場	令和2年 2月17日	上区屋敷	20	7	井戸	上村屋敷地区に給水して いる。
⑮	木沢配水池	平成16年 4月1日	木沢	78	37	井戸	南信濃木沢、小道木、栃の 上地区へ給水している。
⑯	名古屋山第1配水池	平成18年 4月1日	名古屋山	34	45	井戸	南信濃名古屋山第1、第2地 区へ給水している。
⑰	上島配水池	平成11年 8月1日	上島	41	20	井戸	南信濃上島地区へ給水し ている。
⑱	池口配水池	平成27年 3月27日	池口	141	44	井戸	南信濃池口、和田大島、 漆平島地区へ給水してい る。
計				1,411	1,273		

### (3) 浄水池及び配水池の概要

#### ○上水道

##### 1. 妙琴浄水場系

No.	施設名	容量(m <sup>3</sup> )	緊遮
1	妙琴浄水池 (P)	2,000.0	
2	妙琴PCタンク	5,015.0	○
3	鼎高区配水池	80.0	
4	鼎配水池	1,300.0	○
5	北の原配水池	2,400.0	○
6	駄科配水池	556.8	○
7	上川路配水池	817.4	○
8	桐林配水池	108.0	
9	伊賀良中区配水池 (P)	1,017.0	○
10	伊賀良低区配水池 (P)	960.0	○
11	北方配水池	249.6	○
12	入野配水池	550.0	○
13	大瀬木配水池	100.0	
14	三尋石配水池	60.4	
15	大瀬木高区配水池	70.0	○
16	大瀬木中区配水池 (P)	100.8	○
17	大瀬木低区配水池	174.0	○
18	西部山麓配水池	1,700.0	○
19	白山配水池 (P)	1,200.0	○
20	押洞第1配水池	248.0	
21	押洞第2配水池 (P)	189.0	
22	滝の沢配水池 (P)	248.0	
23	正永寺原第1配水池	26.0	
24	正永寺原第2配水池	150.0	
25	正永寺原第3配水池	441.0	
26	久米配水池	112.5	○
27	天竜峡配水池 (P)	345.0	
28	原田配水池	231.0	○
29	竜峡配水池	56.0	
30	伊豆木受水槽兼配水池(P)	61.0	
31	伊豆木特高区配水池	54.0	○
32	伊豆木高区配水池	59.0	○
33	伊豆木中区配水池	126.0	○
34	伊豆木低区配水池	197.0	○
35	立石配水池	54.6	
36	下瀬配水池	131.0	○
37	龍江配水池	249.6	
38	龍江低区配水池 (P)	138.0	
39	龍江高区配水池	70.0	○
40	知久平配水池	345.6	○
41	南原配水池	168.8	○
42	中組配水池 (P)	216.0	○
43	亀平配水池	165.0	○
44	柿野沢配水池	60.5	○
45	上虎岩配水池 (P)	108.0	○
46	大虎配水池	108.0	○
47	山本高区配水池	118.8	○
48	山本中区配水池 (P)	294.0	○
49	山本低区配水池	390.0	○
50	箱川配水池	90.0	○

##### 2. 砂払浄水場系

No.	施設名	容量(m <sup>3</sup> )	緊遮
51	砂払第1配水池	3,070.0	○
52	砂払第2配水池	2,000.0	○
53	砂払第3配水池	2,000.0	○
54	下黒田配水池 (P)	2,031.0	○
55	上郷第4配水池	248.0	
56	高松配水池	504.0	○
57	座光寺低区配水池	550.0	○

##### 3. 野底浄水場系

No.	施設名	容量(m <sup>3</sup> )	緊遮
58	野底配水池	1,004.0	
59	上郷第1配水池	420.0	○
60	上黒田配水池	1,100.0	○
61	上郷第5配水池	151.0	
62	大堤配水池	90.0	
63	大門原低区配水池 (P)	57.6	
64	大門原高区配水池	38.0	

##### 4. 沢城浄水場系

No.	施設名	容量(m <sup>3</sup> )	緊遮
65	沢城配水池	210.0	
66	沢城第2配水池	105.8	○

##### 5. 米川浄水場系

No.	施設名	容量(m <sup>3</sup> )	緊遮
67	米川配水池	90.0	
68	天伯配水池 (P)	320.0	○
69	荻田配水池	45.0	
70	荻坪配水池	110.0	○
71	大郡配水池	90.0	○
72	尾林上配水池	140.0	○
73	尾林配水池	80.0	○
74	千栄配水池	90.0	○
75	芋平配水池 (P)	80.0	○
76	蛇沼配水池	82.5	○
77	野池配水池	50.0	○
78	雲母配水池	150.0	○
79	尾科配水池	100.0	○

##### 6. 法山浄水場系

No.	施設名	容量(m <sup>3</sup> )	緊遮
80	法山配水池	45.0	○
81	法全寺第1配水池	50.0	○
82	法全寺第2配水池 (P)	60.0	○
83	山中配水池	56.3	○

##### 7. 上久堅浄水場系

No.	施設名	容量(m <sup>3</sup> )	緊遮
84	上久堅配水池	170.0	○
85	越久保配水池	110.0	○
86	上平配水池	140.0	○
87	馬場垣外配水池	110.0	○
88	上原配水池	30.0	

#### ○簡易水道

##### 8. 遠山簡易水道

No.	施設名	容量(m <sup>3</sup> )	緊遮
(旧上町簡易水道)			
H27 旧八日市場飲料水供給施設 統合			
1	上町第1配水池	395.0	
(旧程野簡易水道)			
2	程野配水池	120.0	
(旧下栗簡易水道)			
3	下栗配水池	109.2	
4	中根配水池	50.8	
5	須沢配水池	38.4	
(旧和田簡易水道)			
6	和田第1配水池	338	
7	和田第2配水池	188.5	
8	和田第3配水池	31.4	
(旧木沢簡易水道)			
9	木沢配水池 (P)	60.8	
10	柄の上配水池	20.8	
11	小道木配水池	44.0	
12	川合第1配水池	15.3	
13	川合第2配水池	27.0	
(旧名古山簡易水道)			
14	名古山第1配水池 (P)	58.0	
15	名古山第2配水池	5.0	
(旧大島簡易水道)			
16	大島高区配水池	22.5	
17	漆平島配水池	23.3	
18	大島低区配水池	32.0	
(旧上島簡易水道)			
19	上島配水池	53.3	
(旧八重河内簡易水道)			
20	此田配水池	28.6	
21	本村第1配水池	52.8	
22	本村第2配水池	20.8	
23	本村第3配水池	36.3	
24	梅平配水池	25.4	
(旧十原簡易水道)			
25	十原配水池	32.25	
(旧下中郷飲料水供給施設)			
26	下中郷第1配水池	74.6	
27	下中郷第2配水池	2.5	
(旧下栗上区飲料水供給施設)			
28	上区屋敷配水池	20	
29	上区大野配水池	4.5	
(旧ウトウドチ飲料水供給施設)			
30	ウトウドチ配水池	35.0	
(旧池口飲料水供給施設)			
31	池口配水池	26.7	
(旧和見飲料水供給施設)			
32	和見配水池	20.0	
(旧上中郷簡易給水施設)			
33	上中郷第1配水池	36.0	
34	上中郷第2配水池	16.5	
(旧風折簡易給水施設)			
35	風折配水池	23.0	

(注) 緊遮:緊急遮断弁  
(P):送水ポンプ有り



## (4) ポンプ場等の概要

### ○上水道

#### 妙琴浄水場系

No.	施設名	容量(m <sup>3</sup> )
1	西部山麓ポンプ場	360.0
2	伊賀良低区受水槽	22.5
3	山本受水槽(P)	148.5
4	大瀬木受水槽(P)	37.5
5	梅ヶ久保受水槽(P)	10.0
6	久米ポンプ所	10.7
7	竜峡受水槽(P)	4.5
8	川路受水槽(P)	5.5
9	伊豆木中継ポンプ場	41.0
10	龍江低区ポンプ所	7.2
11	下久堅受水槽(P)	159.6
12	知久平中継ポンプ場	21.0
13	南原中継ポンプ場	10.7
14	亀平中継ポンプ場	13.0
15	柿野沢中継ポンプ場	9.0
16	上虎岩中継ポンプ場	13.0

#### 砂払浄水場系

No.	施設名	容量(m <sup>3</sup> )
17	今宮中継ポンプ場	193.5

#### 野底浄水場系

No.	施設名	容量(m <sup>3</sup> )
18	大堤受水槽(P)	5.0

#### 米川浄水場系

No.	施設名	容量(m <sup>3</sup> )
19	芋平中継ポンプ場	7.6
20	野池中継ポンプ場	7.6

#### 上久堅浄水場系

No.	施設名	容量(m <sup>3</sup> )
21	上久堅導水ポンプ場	9.0

### ○簡易水道

#### 遠山簡易水道

No.	施設名	容量(m <sup>3</sup> )
(旧下栗簡易水道)		
1	途中沢中継ポンプ場	40.0
(旧和田簡易水道)		
2	和田送水ポンプ槽	3.88
(旧八重河内簡易水道)		
3	本村中継ポンプ場	3.4

No.	施設名	容量(m <sup>3</sup> )
(旧下中郷飲料水供給施設)		
4	下中郷送水ポンプ所	1.0
(旧下栗上区飲料水供給施設)		
5	上区大野送水ポンプ所	1.0

西部山麓ポンプ場 高揚程ポンプ(送水ポンプ)



## 6 環境に配慮した取組

### (1) 再生可能エネルギー設備の概要 (太陽光発電)

No.	項 目 施設名	年 度	発電量 (kWh)	使用電力量 (kWh)	売電力量 (kWh)	CO <sub>2</sub> 削減量 <sup>※1</sup> (t)
①	砂払浄水場	令和4年度	14,861	9,601	5,260	6.3
		令和5年度	15,025	9,421	5,604	6.4
		令和6年度	14,098	8,520	5,578	6.0
②	野底浄水場	令和4年度	10,362	4,488	5,874	4.4
		令和5年度	10,619	4,327	6,292	4.5
		令和6年度	9,259	4,249	5,010	3.9

※1 CO<sub>2</sub>削減量：全国平均CO<sub>2</sub>排出係数を0.423 kg-CO<sub>2</sub>/kWh(2024)として算出

### (2) 再生可能エネルギー設備の概要 (マイクロ水力発電<sup>※2</sup>)

令和6年10月から砂払浄水場と北の原配水池に場所貸しによりマイクロ水力発電設備を設置し、発電を開始しました。また、発電の様子もリアルタイムで確認することができます。

No.	項 目 施設名	年 度	発電量 (kWh)	売電力量 (kWh)	CO <sub>2</sub> 削減量 <sup>※1</sup> (t)
①	砂払浄水場 (原水)	令和6年度	39,826	39,826	16.8
②	北の原配水池 (水道水)	令和6年度	31,327	31,327	13.3

※1 CO<sub>2</sub>削減量：全国平均CO<sub>2</sub>排出係数を0.423 kg-CO<sub>2</sub>/kWh(2024)として算出

※2 発電出力が100kW以下の小規模な水力発電

#### 砂払浄水場 マイクロ水力発電施設(場所貸し)



#### リアルタイムデータ(水力発電監視用)イメージ



## 7 水道事業会計財務状況

### (1) 比較損益計算書（簡易水道事業を含む）

(単位:千円、%)

年 度 科 目	No.	令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		金 額	構成比	対前年比 増減率	金 額	構成比	対前年比 増減率	金 額	構成比	対前年比 増減率
営業収益 (A)	1	1,547,699	80.4	△ 1.6	1,545,348	77.9	△ 0.2	1,790,691	82.8	15.9
給水収益	2	1,445,801	75.1	△ 1.4	1,442,615	72.7	△ 0.2	1,681,780	77.8	16.6
加入金	3	33,760	1.7	32.1	32,290	1.6	△ 4.4	32,140	1.5	△ 0.5
受託工事収益	4	1,513	0.1	△ 75.7	843	0.0	△ 44.3	393	0.0	△ 53.4
受託金	5	55,060	2.9	△ 0.3	57,426	2.9	4.3	59,301	2.7	3.3
その他営業収益	6	11,565	0.6	△ 43.3	12,174	0.7	5.3	17,077	0.8	40.3
営業費用 (B)	7	1,737,007	94.4	△ 2.8	1,747,756	94.6	0.6	1,783,827	94.9	2.1
原水及び浄水費	8	417,318	22.7	9.8	405,966	22.0	△ 2.7	426,778	22.7	5.1
配水及び給水費	9	193,030	10.5	△ 14.1	207,640	11.2	7.6	200,078	10.7	△ 3.6
受託工事費	10	1,513	0.1	△ 75.7	843	0.0	△ 44.3	393	0.0	△ 53.4
総係費	11	167,120	9.1	△ 1.3	172,185	9.3	3.0	176,615	9.4	2.6
減価償却費	12	920,992	50.0	△ 0.2	934,116	50.6	1.4	939,738	50.0	0.6
資産減耗費	13	37,034	2.0	△ 55.7	27,006	1.5	△ 27.1	40,225	2.1	48.9
営業利益 (C)=(A-B)	14	△ 189,308	—	11.1	△ 202,408	—	△ 6.9	6,864	—	103.4
営業外収益 (D)	15	377,837	19.6	0.3	438,766	22.1	16.1	371,101	17.2	△ 15.4
受取利息及び配当金	16	1,187	0.1	△ 23.6	1,199	0.0	1.0	1,363	0.1	13.7
他会計補助金	17	135,073	7.0	16.1	198,660	10.0	47.1	137,055	6.3	△ 31.0
長期前受金戻入益	18	234,511	12.2	△ 4.6	231,401	11.7	△ 1.3	222,727	10.3	△ 3.7
資本費繰入収益	19	5,084	0.2	△ 22.5	3,879	0.2	△ 23.7	3,791	0.2	△ 2.3
雑収益	20	1,982	0.1	△ 68.1	3,627	0.2	83.0	6,165	0.3	70.0
営業外費用 (E)	21	96,167	5.2	△ 12.3	89,452	4.8	△ 7.0	84,128	4.5	△ 6.0
支払利息及び企業債取扱諸費	22	95,332	5.2	△ 12.8	86,956	4.7	△ 8.8	83,183	4.4	△ 4.3
雑支出	23	835	0.0	123.3	2,496	0.1	198.9	945	0.1	△ 62.1
経常利益 (F)=(C+D-E)	24	92,362	—	70.8	146,906	—	59.1	293,837	—	100.0
特別利益 (G)	25	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
特別損失 (H)	26	7,921	0.4	19.3	10,995	0.6	38.8	11,126	0.6	1.2
収益合計 (I)=(A+D+G)	27	1,925,536	100.0	△ 1.3	1,984,114	100.0	3.0	2,161,792	100.0	9.0
費用合計 (J)=(B+E+H)	28	1,841,095	100.0	△ 3.2	1,848,203	100.0	0.4	1,879,081	100.0	1.7
当年度純利益 (K)=(I-J)	29	84,441	—	78.0	135,911	—	61.0	282,711	—	108.0
当年度未処分利益剰余金	30	84,441	—	78.0	135,911	—	61.0	282,711	—	108.0

## (2) 総費用の要素別経費内訳比較表（簡易水道事業を含む）

(単位:千円、%)

科 目 \ 年 度	No.	令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		金 額	構成比	対前年比増減率	金 額	構成比	対前年比増減率	金 額	構成比	対前年比増減率
人 件 費	1	120,123	6.5	6.0	121,244	6.6	0.9	121,679	6.5	0.4
動 力 費	2	93,081	5.1	37.7	76,115	4.1	△ 18.2	81,514	4.3	7.1
修 繕 費	3	32,668	1.8	11.3	29,452	1.6	△ 9.8	26,137	1.4	△ 11.3
材 料 費	4	2,390	0.1	63.1	1,710	0.1	△ 28.5	1,072	0.1	△ 37.3
委 託 料	5	417,329	22.7	0.3	419,953	22.7	0.6	451,341	24.0	7.5
工 事 請 負 費	6	57,842	3.1	△ 40.3	83,201	4.5	43.8	68,078	3.6	△ 18.2
減 価 償 却 費	7	920,992	50.0	△ 0.2	934,116	50.5	1.4	939,738	50.0	0.6
資 産 減 耗 費	8	37,034	2.0	△ 55.7	27,006	1.5	△ 27.1	40,225	2.2	48.9
支 払 利 息	9	95,332	5.2	△ 12.8	86,956	4.7	△ 8.8	83,183	4.4	△ 4.3
過年度損益修正損	10	82	0.0	△ 78.0	77	0.0	△ 6.1	243	0.0	215.6
その他特別損失	11	7,838	0.4	25.0	8,446	0.5	7.8	10,883	0.6	28.9
そ の 他 費 用	12	56,384	3.1	1.2	59,927	3.2	6.3	54,988	2.9	△ 8.2
合 計	13	1,841,095	100.0	△ 3.2	1,848,203	100.0	0.4	1,879,081	100.0	1.7

(注) 1 人件費は、職員の給料・手当・法定福利費及び会計年度任用職員報酬手当の合計である。

2 工事請負費には、受託工事費を含む。

3 資産減耗費は、固定資産除却費及びたな卸資産減耗費の合計である。

4 その他費用は、委託料を除いた物件費、役務費、負担金等である。



### (3) 比較貸借対照表（簡易水道事業を含む）

◎資産の部

(単位:千円、%)

科 目	年 度	No.	令和4年度			令和5年度			令和6年度		
			金 額	構成比	対前年比 増減率	金 額	構成比	対前年比 増減率	金 額	構成比	対前年比 増減率
固定資産 (A)=(B+C)		1	23,873,366	93.5	0.4	24,062,365	93.1	0.8	24,456,389	92.9	1.6
有形固定資産 (B)		2	23,766,464	93.0	0.3	23,962,132	92.7	0.8	24,372,224	92.6	1.7
土地		3	1,235,098	4.8	4.2	1,231,671	4.8	△ 0.3	1,240,523	4.7	0.7
建物		4	1,459,416	5.8	△ 2.3	1,425,370	5.5	△ 2.3	1,448,696	5.5	1.6
構築物		5	18,418,391	72.1	△ 0.9	18,057,308	69.9	△ 2.0	18,280,386	69.5	1.2
機械及び装置		6	1,863,580	7.3	△ 3.8	1,842,567	7.1	△ 1.1	1,856,652	7.1	0.8
車両運搬具		7	3,913	0.0	59.0	3,090	0.0	△ 21.0	2,367	0.0	△ 23.4
工具器具及び備品		8	11,251	0.0	428.5	8,569	0.0	△ 23.8	6,651	0.0	△ 22.4
建設仮勘定		10	774,815	3.0	57.9	1,393,557	5.4	79.9	1,536,949	5.8	10.3
無形固定資産 (C)		11	106,902	0.5	15.8	100,233	0.4	△ 6.2	84,165	0.3	△ 16.0
施設利用権		12	36,511	0.2	△ 3.2	35,290	0.1	△ 3.3	28,264	0.1	△ 19.9
電話加入権		13	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
ソフトウェア		14	70,382	0.3	29.0	64,934	0.3	△ 7.7	55,892	0.2	△ 13.9
流動資産 (D)		15	1,673,203	6.5	△ 4.3	1,780,283	6.9	6.4	1,867,485	7.1	4.9
現金預金		16	1,505,505	5.9	△ 5.4	1,585,563	6.1	5.3	1,676,072	6.4	5.7
未収金		17	57,418	0.2	46.6	55,584	0.2	△ 3.2	49,944	0.2	△ 10.1
貯蔵品		18	22,650	0.1	0.0	22,603	0.1	△ 0.2	23,289	0.1	3.0
前払金		19	0	0.0	-	36,983	0.2	皆増	49,120	0.2	32.8
有価証券		20	84,630	0.3	△ 8.5	76,550	0.3	△ 9.5	66,060	0.2	△ 13.7
その他流動資産		21	3,000	0.0	0.0	3,000	0.0	0.0	3,000	0.0	0.0
資産合計 (F)=(A+D)		22	25,546,569	100.0	0.1	25,842,648	100.0	1.2	26,323,874	100.0	1.9

## ◎負債・資本の部

(単位:千円、%)

科 目	年 度	No.	令和4年度			令和5年度			令和6年度		
			金 額	構成比	対前年比 増減率	金 額	構成比	対前年比 増減率	金 額	構成比	対前年比 増減率
固定負債 (A)		1	6,398,482	25.0	△ 0.7	6,483,098	25.1	1.3	6,591,567	25.0	1.7
企業債		2	6,398,482	25.0	△ 0.7	6,483,098	25.1	1.3	6,591,567	25.0	1.7
流動負債 (B)		3	584,095	2.3	△ 4.9	590,768	2.3	1.1	565,100	2.1	△ 4.3
企業債		4	534,586	2.1	△ 2.1	546,184	2.1	2.2	520,932	2.0	△ 4.6
未払金		5	2,208	0.0	△ 87.0	1,949	0.0	△ 11.7	2,809	0.0	44.1
前受金		6	652	0.0	40.2	104	0.0	△ 84.0	217	0.0	108.7
賞与、法定福利引当金		7	8,734	0.0	△ 5.9	9,052	0.0	3.6	10,756	0.0	18.8
下水道料金預り金		8	32,866	0.2	△ 14.5	30,217	0.2	△ 8.1	27,115	0.1	△ 10.3
その他流動負債		9	5,049	0.0	55.9	3,262	0.0	△ 35.4	3,271	0.0	0.3
繰延収益 (C)		10	5,082,689	19.9	△ 3.8	4,886,320	18.9	△ 3.9	4,797,542	18.3	△ 1.8
長期前受金		11	5,073,432	19.9	△ 3.9	4,884,471	18.9	△ 3.7	4,759,818	18.1	△ 2.6
建設仮勘定長期前受金		12	9,257	0.0	450.7	1,849	0.0	△ 80.0	37,724	0.2	1,940.2
負債合計 (D)=(A+B+C)		13	12,065,266	47.2	△ 2.2	11,960,186	46.3	△ 0.9	11,954,209	45.4	0.0
資本金 (E)		14	11,182,813	43.8	2.1	11,588,783	44.8	3.6	11,817,182	44.9	2.0
自己資本金		15	11,182,813	43.8	2.1	11,588,783	44.8	3.6	11,817,182	44.9	2.0
剰余金 (F)=(G+H)		16	2,298,490	9.0	2.9	2,293,679	8.9	△ 0.2	2,552,483	9.7	11.3
資本剰余金 (G)		17	534,053	2.1	0.0	534,073	2.1	0.0	534,073	2.0	0.0
受贈財産評価額		18	357,721	1.4	0.0	357,741	1.4	0.0	357,741	1.4	0.0
補助金		19	176,332	0.7	0.0	176,332	0.7	0.0	176,332	0.6	0.0
利益剰余金 (H)		20	1,764,437	6.9	3.8	1,759,606	6.8	△ 0.3	2,018,410	7.7	14.7
減債積立金		21	1,389,253	5.4	△ 6.3	1,449,789	5.6	4.4	1,378,064	5.2	△ 4.9
建設改良積立金		22	150,000	0.6	0.0	150,000	0.6	0.0	150,000	0.6	0.0
当年度純利益		23	84,441	0.3	78.0	135,911	0.5	61.0	282,711	1.1	108.0
その他の未処分利益剰余金変動額		24	140,743	0.6	587.5	23,906	0.1	△ 83.0	207,635	0.8	768.5
資本合計 (I)=(E+F)		25	13,481,303	52.8	2.2	13,882,462	53.7	3.0	14,369,665	54.6	3.5
負債・資本合計 (J)=(D+I)		26	25,546,569	100.0	0.1	25,842,648	100.0	1.2	26,323,874	100.0	1.9

# (4) 収益費用明細書

(消費税抜き)

(単位:千円、%)

款	項	目	No.	令和4年度		令和5年度		令和6年度			
				金額	対前年比増減率	金額	対前年比増減率	金額	対前年比増減率	対前年比増減額	
水道事業収益			1	1,836,410	△ 0.4	1,895,677	3.2	2,060,313	8.7	164,636	
	営業収益		2	1,519,795	△ 1.6	1,518,155	△ 0.1	1,759,806	15.9	241,651	
	給水収益		3	1,418,009	△ 1.3	1,415,896	△ 0.1	1,651,612	16.6	235,716	
	加入金		4	33,760	32.6	32,090	△ 4.9	31,940	△ 0.5	△ 150	
	受託工事収益		5	1,513	△ 75.7	843	△ 44.3	393	△ 53.4	△ 450	
	受託金		6	55,060	△ 0.3	57,426	4.3	59,301	3.3	1,875	
	その他営業収益		7	11,453	△ 43.5	11,900	3.9	16,560	39.2	4,660	
	営業外収益		8	316,615	5.7	377,522	19.2	300,507	△ 20.4	△ 77,015	
	受取利息及び配当金		9	1,187	△ 23.6	1,199	1.0	1,363	13.7	164	
	他会計補助金		10	96,612	25.5	158,717	64.3	90,076	△ 43.2	△ 68,641	
	長期前受金戻入益		11	216,197	0.9	213,520	△ 1.2	204,428	△ 4.3	△ 9,092	
	資本費繰入収益		12	637	4.3	459	△ 27.9	56	△ 87.8	△ 403	
	雑収益		13	1,982	△ 68.1	3,627	83.0	4,584	26.4	957	
	特別利益		14	0	-	0	-	0	-	0	
	過年度損益修正益		15	0	-	0	-	0	-	0	
簡易水道事業収益			16	89,126	△ 16.5	88,437	△ 0.8	101,479	14.7	13,042	
	営業収益		17	27,904	△ 6.1	27,193	△ 2.5	30,885	13.6	3,692	
	給水収益		18	27,792	△ 5.8	26,719	△ 3.9	30,168	12.9	3,449	
	加入金		19	0	皆減	200	皆増	200	0.0	0	
	その他営業収益		20	112	△ 11.8	274	144.6	517	88.7	243	
	営業外収益		21	61,222	△ 20.5	61,244	0.0	70,594	15.3	9,350	
	他会計補助金		22	38,461	△ 2.2	39,943	3.9	46,979	17.6	7,036	
	長期前受金戻入益		23	18,314	△ 42.3	17,881	△ 2.4	18,299	2.3	418	
	資本費繰入収益		24	4,447	△ 25.3	3,420	△ 23.1	3,735	9.2	315	
	雑収益		25	0	-	0	-	1,581	皆増	1,581	
	特別利益		26	0	-	0	-	0	-	0	
	過年度損益修正益		27	0	-	0	-	0	-	0	
	合 計			28	1,925,536	△ 1.3	1,984,114	3.0	2,161,792	9.0	177,678
	水道事業費用			29	1,720,031	△ 0.8	1,723,373	0.2	1,742,308	1.1	18,935
		営業費用		30	1,621,140	△ 0.1	1,627,592	0.4	1,651,731	1.5	24,139
原水及び浄水費		31	376,095	11.2	363,802	△ 3.3	375,066	3.1	11,264		
配水及び給水費		32	188,513	△ 15.0	200,416	6.3	193,164	△ 3.6	△ 7,252		
受託工事費		33	1,513	△ 75.7	843	△ 44.3	393	△ 53.4	△ 450		
総係費		34	160,057	△ 1.5	165,090	3.1	169,464	2.6	4,374		
減価償却費		35	858,021	△ 0.5	870,631	1.5	876,244	0.6	5,613		
資産減耗費		36	36,941	17.3	26,810	△ 27.4	37,400	39.5	10,590		
営業外費用		37	90,978	△ 12.6	84,786	△ 6.8	79,494	△ 6.2	△ 5,292		
支払利息及び企業債取扱諸費		38	90,143	△ 13.1	82,290	△ 8.7	78,548	△ 4.5	△ 3,742		
雑支出		39	835	123.3	2,496	198.9	946	△ 62.1	△ 1,550		
特別損失		40	7,913	19.3	10,995	38.9	11,083	0.8	88		
固定資産売却損		41	0	-	2,472	皆増	0	皆減	△ 2,472		
過年度損益修正損		42	75	△ 79.7	77	2.7	209	171.4	132		
その他特別損失		43	7,838	25.1	8,446	7.8	10,874	28.7	2,428		
簡易水道事業費用			44	121,064	△ 28.4	124,830	3.1	136,773	9.6	11,943	
	営業費用		45	115,867	△ 29.1	120,164	3.7	132,095	9.9	11,931	
	原水及び浄水費		46	41,223	△ 1.1	42,164	2.3	51,713	22.6	9,549	
	配水及び給水費		47	4,517	68.2	7,224	59.9	6,913	△ 4.3	△ 311	
	総係費		48	7,063	2.4	7,095	0.5	7,151	0.8	56	
	減価償却費		49	62,971	4.7	63,485	0.8	63,494	0.0	9	
	資産減耗費		50	93	△ 99.8	196	110.8	2,824	1,340.8	2,628	
	営業外費用		51	5,189	△ 6.8	4,666	△ 10.1	4,635	△ 0.7	△ 31	
	支払利息及び企業債取扱諸費		52	5,189	△ 6.8	4,666	△ 10.1	4,635	△ 0.7	△ 31	
	特別損失		53	8	60.0	0	皆減	43	皆増	43	
	過年度損益修正損		54	7	133.3	0	皆減	34	皆増	34	
	その他特別損失		55	1	△ 50.0	0	皆減	9	皆増	9	
	合 計			56	1,841,095	△ 3.2	1,848,203	0.4	1,879,081	1.7	30,878

# (5) 資本の収支明細書

(単位:千円・%)

款	項	目	No.	令和4年度		令和5年度		令和6年度		
				金額	対前年比増減率	金額	対前年比増減率	金額	対前年比増減率	対前年比増減額
水道事業資本の収入			1	680,214	102.8	897,462	31.9	884,226	△ 1.5	△ 13,236
		企業債	2	452,100	208.0	609,800	34.9	624,800	2.5	15,000
		他会計負担金	3	20,758	55.7	19,815	△ 4.5	26,836	35.4	7,021
		補助金	4	528	10.0	576	9.1	24,004	4,067.4	23,428
		国庫補助金	5	0	－	0	－	22,979	皆増	22,979
		他会計補助金	6	528	10.0	576	9.1	1,025	78.0	449
		補償金	7	14,218	△ 47.4	14,641	3.0	19,244	31.4	4,603
		出資金	8	192,610	30.3	251,629	30.6	189,342	△ 24.8	△ 62,287
		固定資産売却代金	9	0	－	1,001	皆増	0	皆減	△ 1,001
簡易水道事業資本の収入			10	49,737	△ 37.6	34,598	△ 30.4	27,466	△ 20.6	△ 7,132
		企業債	11	36,400	△ 45.7	21,000	△ 42.3	4,600	△ 78.1	△ 16,400
		他会計負担金	12	0	－	0	－	513	皆増	513
		補償金	13	0	－	0	－	7,202	皆増	7,202
		出資金	14	13,337	5.3	13,598	2.0	15,151	11.4	1,553
合 計 (A)			15	729,951	75.8	932,060	27.7	911,692	△ 2.2	△ 20,368
水道事業資本の支出			16	1,599,051	18.9	1,742,275	9.0	1,918,339	10.1	176,064
		建設改良費	17	1,088,577	30.9	1,241,724	14.1	1,409,632	13.5	167,908
		拡張費	18	373,408	42.9	648,348	73.6	716,035	10.4	67,687
		改良費	19	611,439	23.7	521,023	△ 14.8	614,260	17.9	93,237
		設備費	20	54,594	189.3	22,838	△ 58.2	13,847	△ 39.4	△ 8,991
		事務費	21	49,136	△ 13.8	49,515	0.8	65,490	32.3	15,975
		企業債償還金	22	510,474	△ 0.5	500,551	△ 1.9	508,707	1.6	8,156
簡易水道事業資本の支出			23	91,279	△ 27.9	57,931	△ 36.5	59,301	2.4	1,370
		建設改良費	24	55,711	△ 37.7	23,896	△ 57.1	21,824	△ 8.7	△ 2,072
		拡張費	25	49,819	△ 39.4	14,073	△ 71.8	0	皆減	△ 14,073
		改良費	26	5,168	△ 20.1	9,350	80.9	21,824	133.4	12,474
		設備費	27	724	4.9	473	△ 34.7	0	皆減	△ 473
		企業債償還金	28	35,568	△ 4.5	34,035	△ 4.3	37,477	10.1	3,442
合 計 (B)			29	1,690,330	14.9	1,800,206	6.5	1,977,640	9.9	177,434
資本の収入が資本の支出に対して不足する額 (A)－(B)			30	960,379	△ 9.1	868,146	△ 9.6	1,065,948	22.8	197,802
補 て ん 財 源 内 訳		過年度分損益勘定留保資金	31	0	皆減	0	－	0	－	0
		当年度分損益勘定留保資金	32	722,641	△ 4.5	733,642	1.5	747,448	1.9	13,806
		減債積立金	33	140,743	587.5	23,906	△ 83.0	207,635	768.5	183,729
		消費税資本の収支調整額	34	96,995	26.4	110,598	14.0	110,865	0.2	267
		合 計	35	960,379	△ 9.1	868,146	△ 9.6	1,065,948	22.8	197,802

(6) 経営分析比較表（簡易水道事業を含む）

項 目	年度別数値				算 出 式	備 考
	No.	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
有収率(%)	1	87.4	87.4	87.6	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総配水量}} \times 100$	年間総配水量に対する収入となった水量の割合、比率は高いほど良い
負荷率(%)	2	89.7	90.8	90.1	$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日最大配水量}} \times 100$	需要変動の比率を示す、比率は高いほど施設効率が 高い
施設利用率(%)	3	63.3	62.9	62.1	$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$	施設の利用が有効かつ適正に行われているかを見る、比率は高いほど良い
供給単価(円/㎥)	4	156.12	157.32	184.91	$\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}}$	有収水量1㎥当たりどれだけの収益を得ているかを表す
給水原価(円/㎥)	5	172.46	175.00	180.85	$\frac{(\text{経常費用} - \text{長期前受金戻入益}) - (\text{受託工事費} + \text{材料不用品売却原価})}{\text{年間有収水量}}$	有収水量1㎥当たりどれだけの費用がかかっているかを表す
料金回収率(%)	6	90.5	89.9	102.2	$\frac{\text{供給単価}}{\text{給水原価}} \times 100$	有収水量1㎥当たり掛かる費用を料金で回収できているかどうかを示す
職員一人当り給水人口(人)	7	4,564	4,305	4,252	$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	職員数が適正であるかどうかを見る、数値は大きいほど良い
職員一人当り有収水量(㎥)	8	440,995	416,816	413,417	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	職員1人当たりの生産量を見る、数値は大きいほど良い
職員一人当り営業収益(千円)	9	73,628	73,548	81,377	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	職員1人当たりの売上高を見る、数値は大きいほど良い
料金収入に対する給与費の割合(%)	10	11.3	11.5	10.7	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{料金収入}} \times 100$	料金収入と職員給与費の割合
総収支比率(%)	11	104.6	107.4	115.0	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	事業全体の収支状況を見る、比率は100%以上で高いほど良い
経常収支比率(%)	12	105.0	108.0	115.7	$\frac{\text{営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100$	経常収支の状況を見る、比率は100%以上で高いほど良い
営業収支比率(%)	13	89.1	88.4	100.4	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費用}} \times 100$	営業収支の状況を見る、比率は100%以上で高いほど良い
企業債償還元金対料金収入比率(%)	14	37.8	37.1	32.5	$\frac{\text{建設改良のための企業債償還元金}}{\text{料金収入}} \times 100$	企業債発行額が事業規模に対し適正かどうかを見る、比率は低いほど良い
企業債利息対料金収入比率(%)	15	6.6	6.0	4.9	$\frac{\text{建設改良のための企業債利息}}{\text{料金収入}} \times 100$	同上
企業債元利償還金対料金収入比率(%)	16	44.4	43.1	37.4	$\frac{\text{建設改良のための企業債元利償還金}}{\text{料金収入}} \times 100$	同上

## 8 起債残高の推移

(単位:千円)

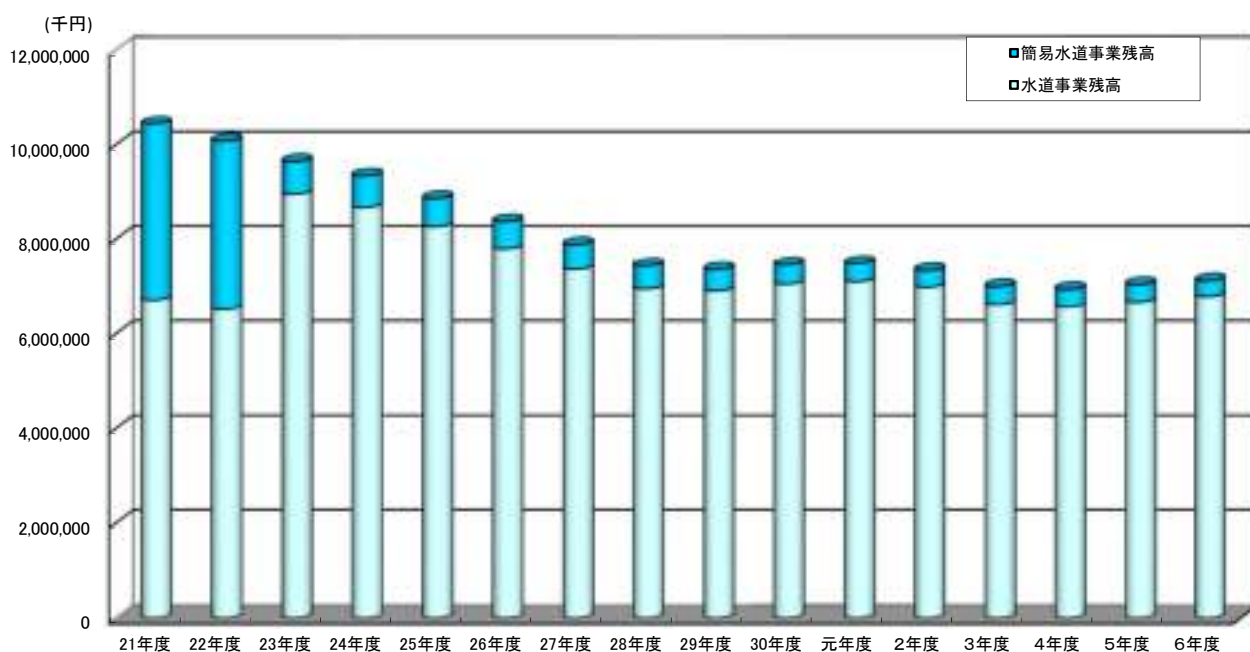
年 度	No.	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
水道事業残高	1	6,711,044	6,505,624	8,948,006	8,672,471	8,252,426	7,792,960	7,352,913	6,945,266
起債借入額	2	120,000	101,000	76,500	200,000	53,000	31,300	65,600	113,200
うち繰上償還に伴う借換債									
起債償還額	3	296,463	306,420	468,255	475,535	473,045	490,766	505,647	520,847
うち繰上償還額									
簡易水道事業残高	4	3,721,283	3,562,223	693,016	654,313	603,250	566,026	523,477	486,070
起債借入額	5	302,300	35,600	14,600	10,600	0	10,000	7,000	12,000
うち繰上償還に伴う借換債		142,800							
起債償還額	6	326,004	194,660	49,669	49,303	51,063	47,224	49,549	49,407
うち繰上償還額		142,931							
起債残高合計	7	10,432,327	10,067,847	9,641,022	9,326,784	8,855,676	8,358,986	7,876,390	7,431,336
給水人口(人)	8	106,520	105,874	105,400	104,487	103,758	103,143	102,612	101,974
給水人口1人当たり 残高(単位:円)	9	97,938	95,093	91,471	89,263	85,349	81,043	76,759	72,875

年 度	No.	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
水道事業残高	10	6,902,546	7,045,884	7,095,609	6,980,095	6,613,767	6,555,393	6,664,642	6,780,735
起債借入額	11	490,400	685,800	547,700	385,900	146,800	452,100	609,800	624,800
起債償還額	13	533,120	542,462	497,975	501,414	513,128	510,474	500,551	508,707
簡易水道事業残高	15	445,050	402,476	382,558	347,070	376,844	377,676	364,640	331,763
起債借入額	16	7,600	6,600	19,000	0	67,000	36,400	21,000	4,600
起債償還額	18	48,620	49,174	38,918	35,488	37,226	35,568	34,036	37,477
起債残高合計	20	7,347,596	7,448,360	7,478,167	7,327,165	6,990,611	6,933,069	7,029,282	7,112,498
給水人口(人)	21	100,995	100,144	99,096	98,069	96,969	95,835	94,701	93,540
給水人口1人当たり 残高(単位:円)	22	72,752	74,376	75,464	74,714	72,091	72,344	74,226	76,037

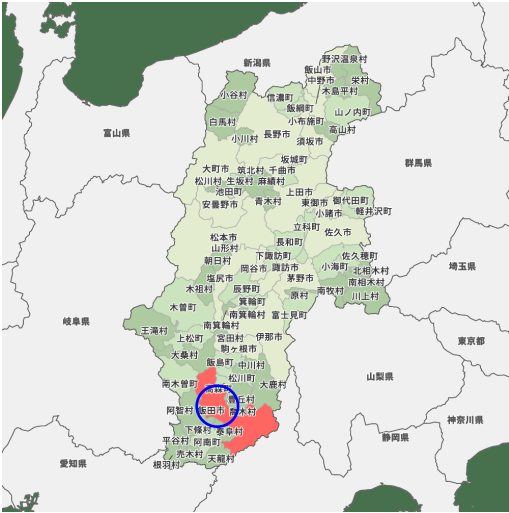
\*平成19年度に一般会計より松島飲供分7,669千円を引き受けた。

\*平成19,20,21年度には、利率6%以上の起債残額について、公的資金補償金免除繰上償還を実施している。

\*平成23年度の起債残高は、米川・法山・上久堅簡易水道を水道事業に統合したことにより、2,834,137千円を会計上移し替えた。



飯田市上水道 配水系統図



	妙琴浄水場系
	野底浄水場系
	砂払浄水場系
	沢城浄水場系
	米川浄水場系
	法山浄水場系
	上久堅浄水場系

凡 例	
	水源（表流水・伏流水）
	水源（予備水源）
	浄水場
	配水池
	送水ポンプ施設
	送水管
	導水管

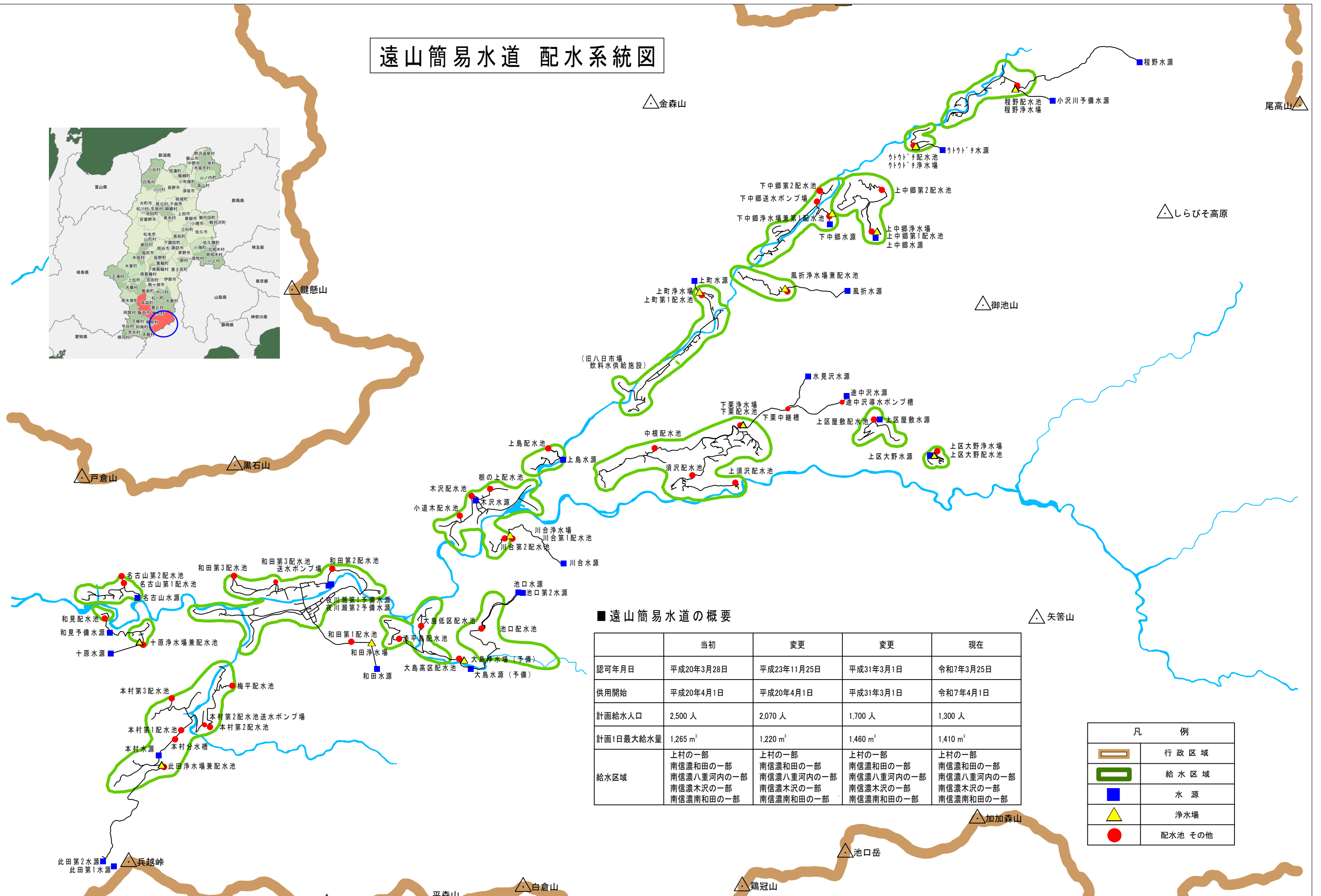
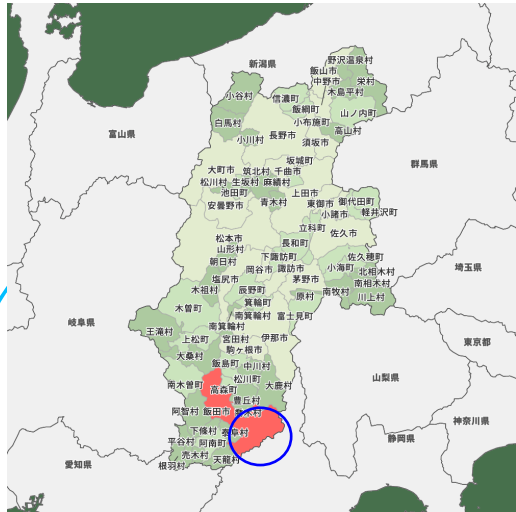
飯田市上水道事業の変遷

	当初	広域	変更	変更	現在
認可年月日	大正15年11月26日	昭和45年3月31日	平成17年3月17日	平成23年3月14日	令和4年3月31日
供用開始日	昭和 3年12月 2日	昭和49年7月 1日	平成17年4月 1日	平成23年4月 1日	令和11年4月1日 予定
計画給水人口	40,000人	100,000人	104,810人	104,400人	97,900人
計画1日最大給水量	5,840m³	45,000m³	40,660m³	44,400m³	35,000m³
給水区域	飯田の一部	飯田・鼎・座光寺 松尾・上郷・伊賀良 及び山本の一部	飯田・座光寺・松尾 下久堅の一部・龍江の一部 竜丘・川路・三穂・山本 伊賀良・鼎・上郷	旧飯田市区域 （遠山簡易水道 上村、南信濃を除く） ※旧三簡水の統合 （米川・上久堅・法山）	旧飯田市区域 （遠山簡易水道 上村、南信濃を除く）





# 遠山簡易水道 配水系統図



## 遠山簡易水道の概要

	当初	変更	変更	現在
認可年月日	平成20年3月28日	平成23年11月25日	平成31年3月1日	令和7年3月25日
供用開始	平成20年4月1日	平成20年4月1日	平成31年3月1日	令和7年4月1日
計画給水人口	2,500 人	2,070 人	1,700 人	1,300 人
計画1日最大給水量	1,265 m <sup>3</sup>	1,220 m <sup>3</sup>	1,460 m <sup>3</sup>	1,410 m <sup>3</sup>
給水区域	上村の一部 南信濃和田の一部 南信濃八重河内の一部 南信濃木沢の一部 南信濃南和田の一部	上村の一部 南信濃和田の一部 南信濃八重河内の一部 南信濃木沢の一部 南信濃南和田の一部	上村の一部 南信濃和田の一部 南信濃八重河内の一部 南信濃木沢の一部 南信濃南和田の一部	上村の一部 南信濃和田の一部 南信濃八重河内の一部 南信濃木沢の一部 南信濃南和田の一部